

スーパーマーケット景気動向調査

11月調査結果(10月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年11月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

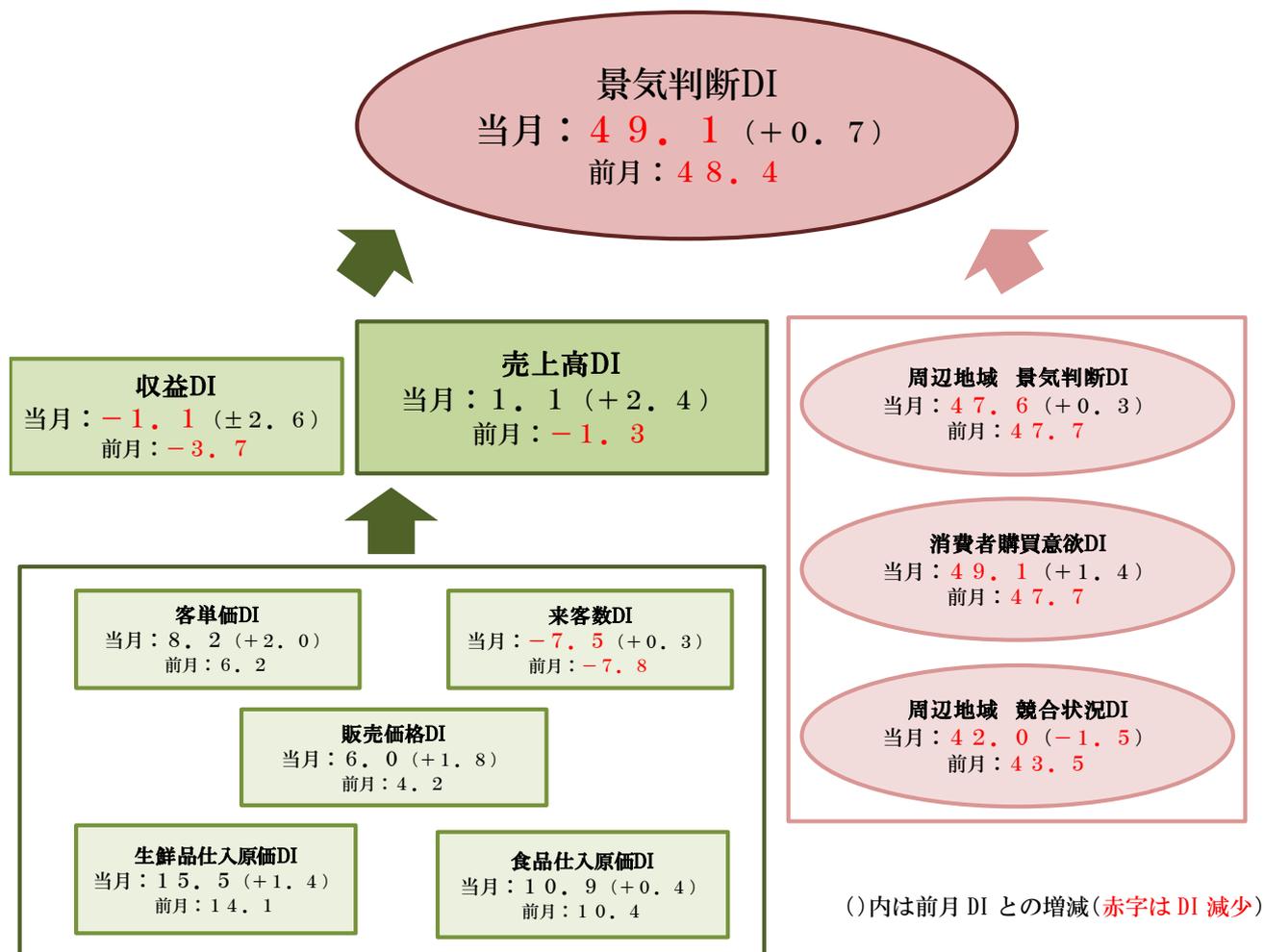
景気判断 DI（現状判断）は小幅に上昇し最高値を更新、仕入原価高止まりも客単価が上昇

10月スーパーマーケット中核店舗における景気判断 49.1 と小幅に上昇し 2010年4月の調査開始以降最高値を記録した。

経営動向調査によると売上高 DI が 1.1 とはじめてプラスを示し、収益 DI も -1.1 と改善をみせている。生鮮品仕入原価 DI、食品仕入原価 DI とともに依然として高い水準となっているが、販売価格 DI や客単価 DI が原価 DI の上昇幅を上回っていることが売上高 DI の上昇に貢献したと考えられる。

景況感調査は景気判断や消費者購買意欲が小幅ながら上昇し最高値を記録する一方で、周辺地域景気は横ばい、競合状況には改善の兆しはみられない。特に景気判断において、現状判断と見通し判断の DI のかい離が拡大しており、先行き見通しについてはやや不安な点もみられる。

2013年10月 スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2013年10月キーワード TOP 3

1. 青果相場高
2. 天候要因(上旬気温高、台風の影響)
3. 他業態との競合

スーパーマーケット経営動向調査

当月：10月速報版集計 247社
前月：9月確報版集計 251社

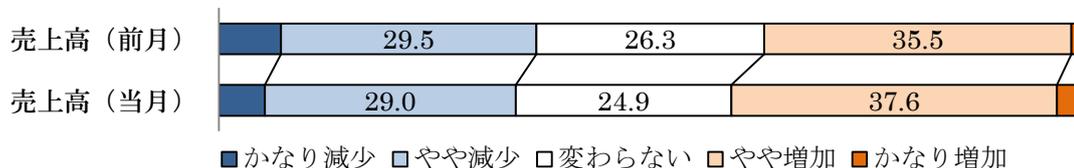
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「かなり減少」が小幅に減少し、「かなり増加」が小幅に増加（DIは上昇）

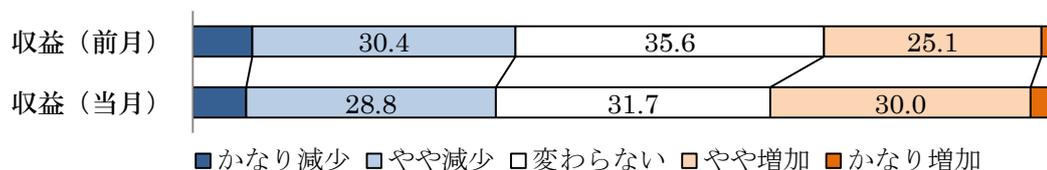
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	7.2	29.5	26.3	35.5	1.6	-1.3
売上高（当月）	5.3	29.0	24.9	37.6	3.3	1.1



②収益 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや増加」が増加（DIは上昇）

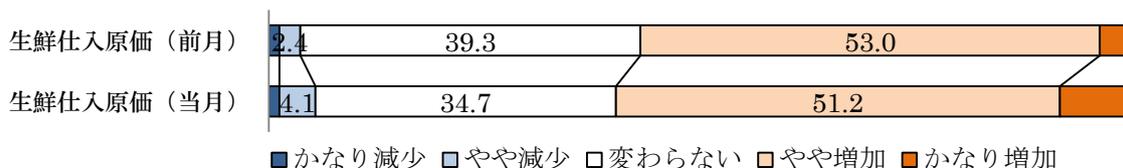
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	6.9	30.4	35.6	25.1	2.0	-3.7
収益（当月）	6.2	28.8	31.7	30.0	3.3	-1.1



③生鮮仕入原価 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「かなり増加」が小幅に増加（DIは小幅に上昇）

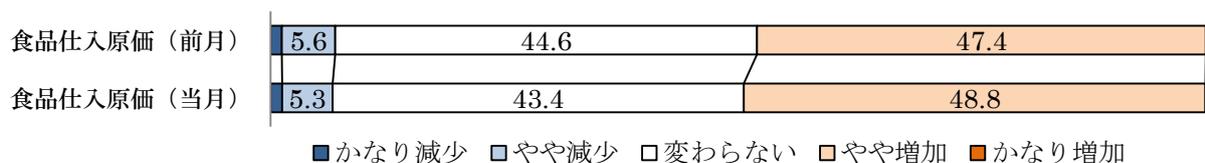
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	1.2	2.4	39.3	53.0	4.0	14.1
生鮮仕入原価（当月）	1.2	4.1	34.7	51.2	8.7	15.5



④食品仕入原価 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	1.2	5.6	44.6	47.4	1.2	10.4
食品仕入原価（当月）	1.2	5.3	43.4	48.8	1.2	10.9



⑤販売価格 DI

「やや増加」が増加 (DI は上昇)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.2	10.8	58.6	29.1	0.4	4.2
販売価格 (当月)	0.4	10.3	54.7	34.2	0.4	6.0



⑥客単価 DI

「やや減少」が小幅に減少 (DI は上昇)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.4	17.1	40.6	41.0	0.8	6.2
客単価 (当月)	0.4	13.5	41.6	42.0	2.4	8.2



⑦来客数 DI

回答構成比に変化なし (DI は大きな変化なし)

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.6	41.6	31.6	20.8	0.4	-7.8
来客数 (当月)	5.4	42.6	29.3	22.3	0.4	-7.5

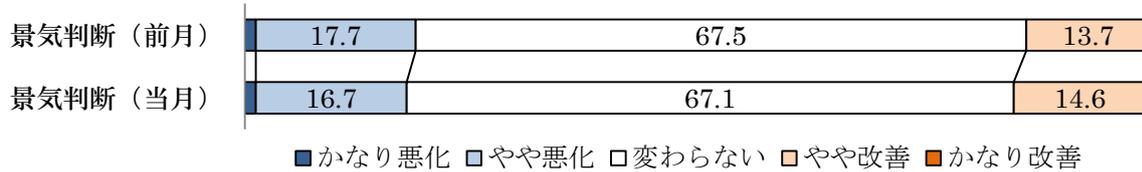


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

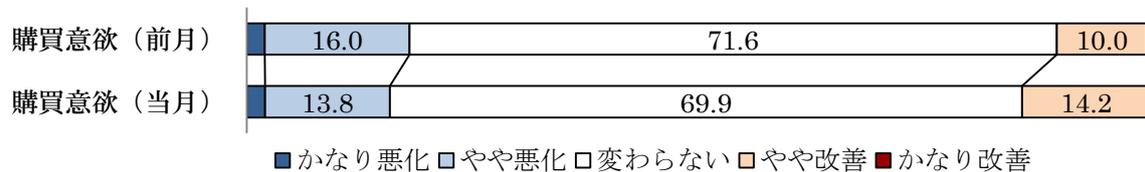
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.2	17.7	67.5	13.7	0.0	48.4
景気判断（当月）	1.2	16.7	67.1	14.6	0.4	49.1



②消費者購買意欲 DI

やや悪化が小幅に減少し、やや改善が小幅に増加（DI に大きな変化なし）

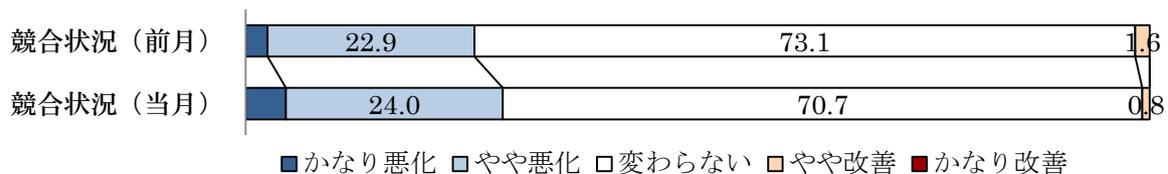
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	2.0	16.0	71.6	10.0	0.4	47.7
購買意欲（当月）	2.0	13.8	69.9	14.2	0.0	49.1



③周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

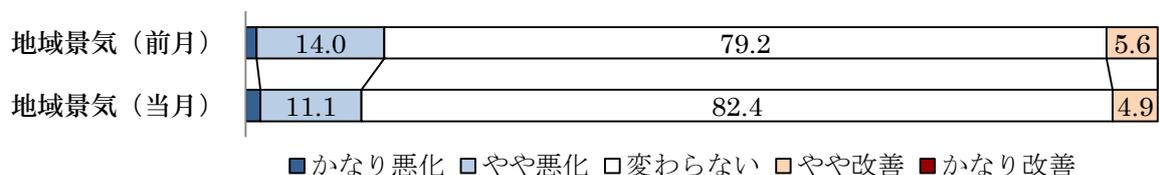
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	2.4	22.9	73.1	1.6	0.0	43.5
競合状況（当月）	4.5	24.0	70.7	0.8	0.0	42.0



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

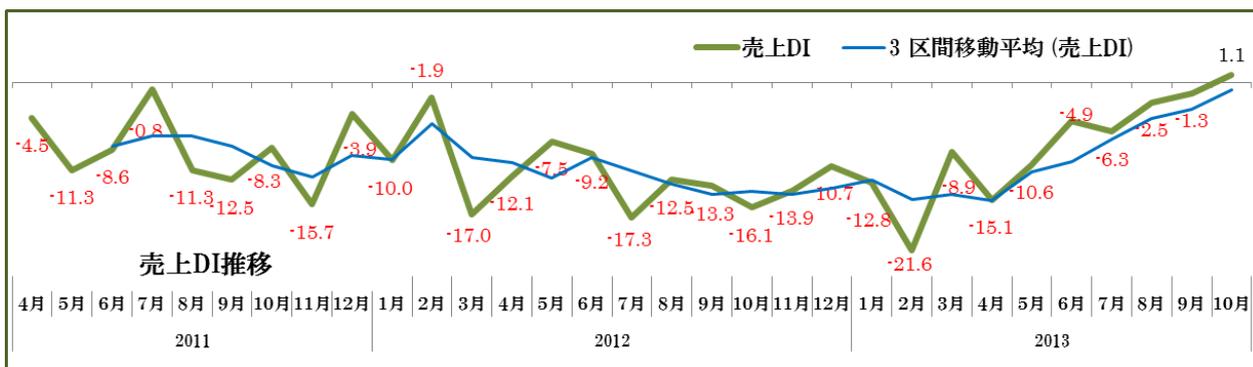
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.2	14.0	79.2	5.6	0.0	47.3
地域景気（当月）	1.6	11.1	82.4	4.9	0.0	47.6



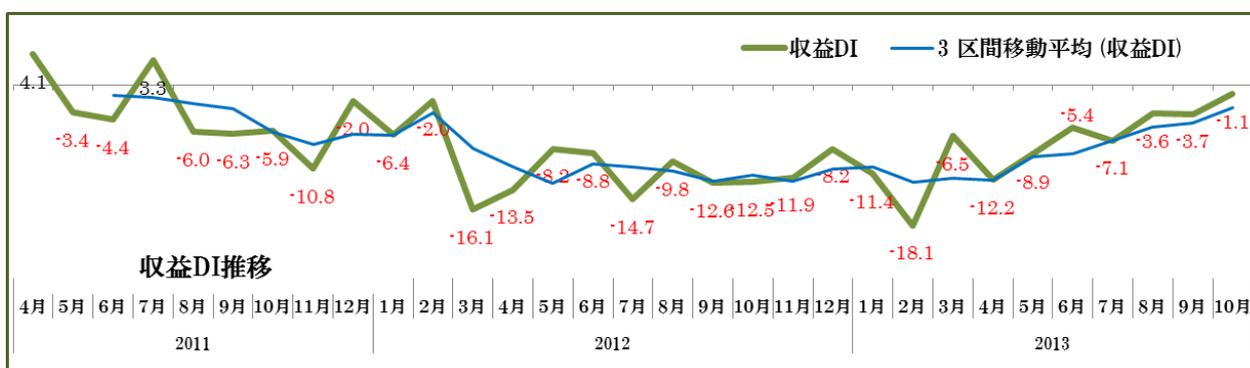
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

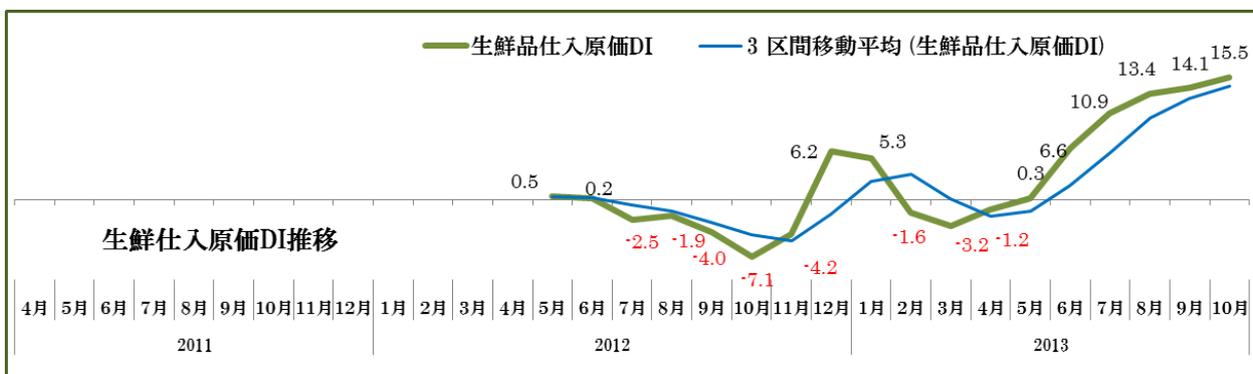
①売上高DI 改善傾向が続き、DIはプラスの値を示す



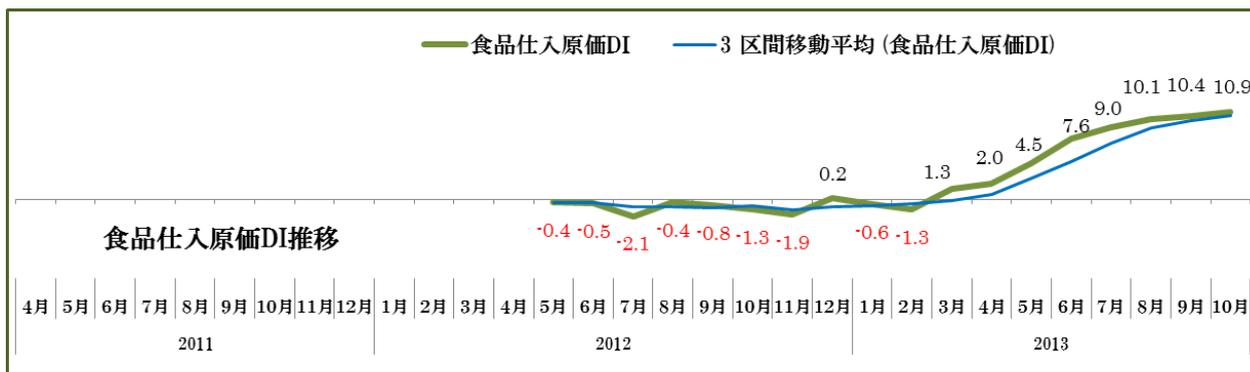
②収益DI ゆるやかな改善傾向が続く



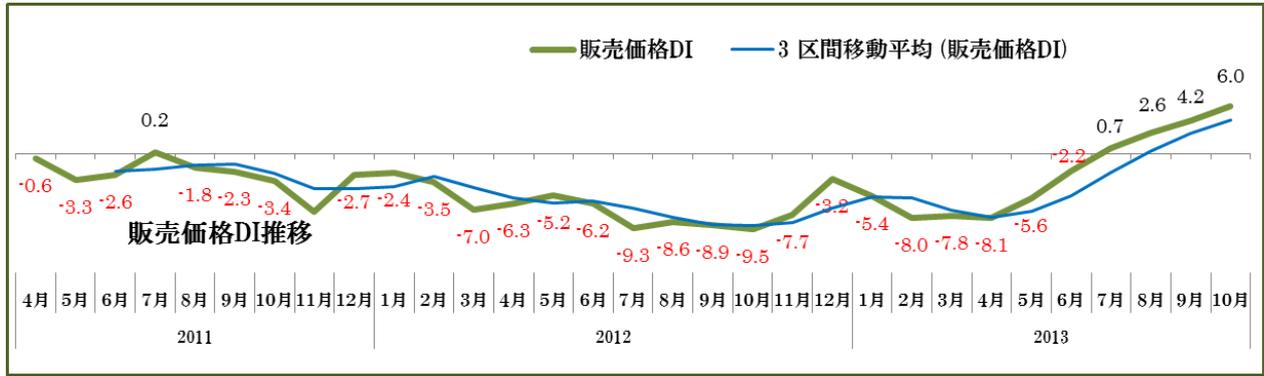
③生鮮仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり傾向



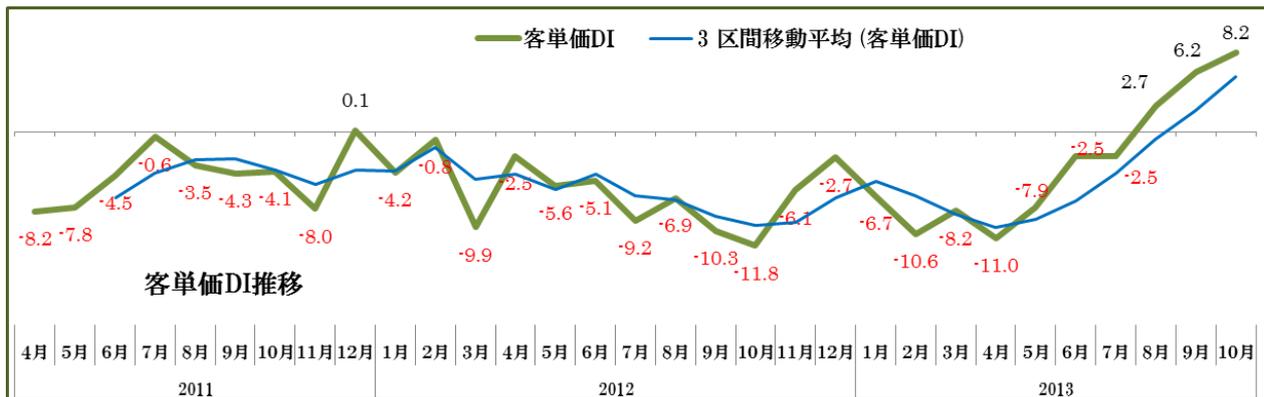
④食品仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり傾向



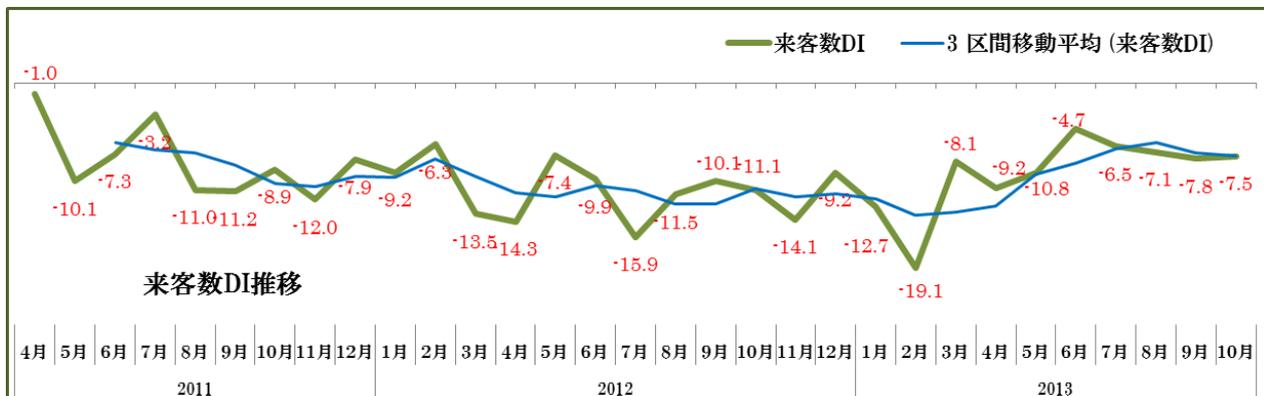
⑤販売価格 DI 4月以降上昇傾向が続く



⑥客単価 DI 4月以降上昇傾向が続く



⑦来客数 DI 横ばい傾向



2. スーパーマーケット景況感調査

①景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断はやや上昇し高水準を維持、見通し判断は横ばいで、現状と見通しの乖離は拡大



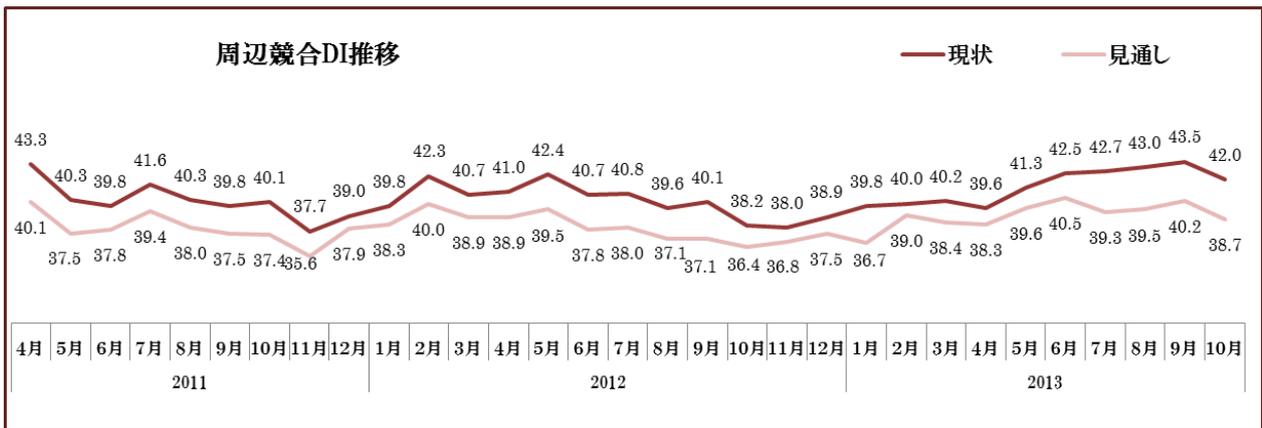
②消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断ともに上昇



③周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に下落



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

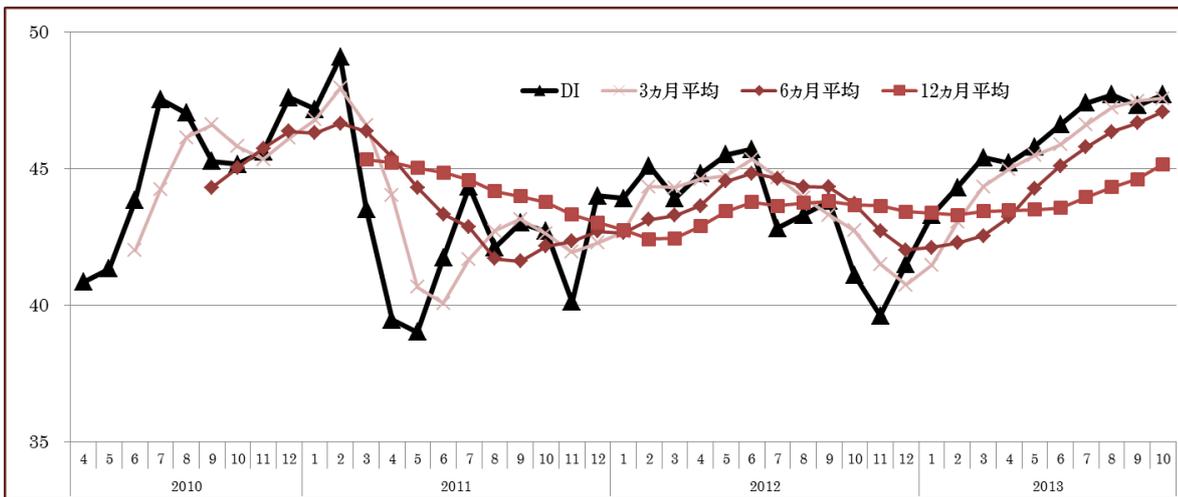
現状判断、見通し判断共にやや改善も横ばい傾向



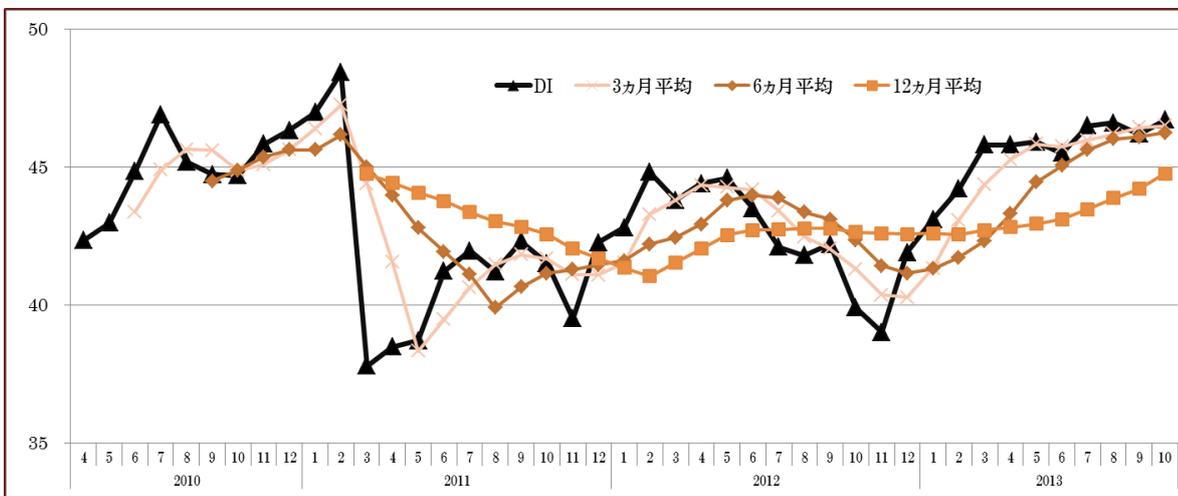
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

単月DIは小幅に改善し、依然として高い水準を維持している。各移動平均線は引き続き上向きである。単月と3ヵ月線が接しており、上昇の勢いに陰りも見られる。現状判断に比べ、見通し判断に横ばい傾向が強くなっている。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）



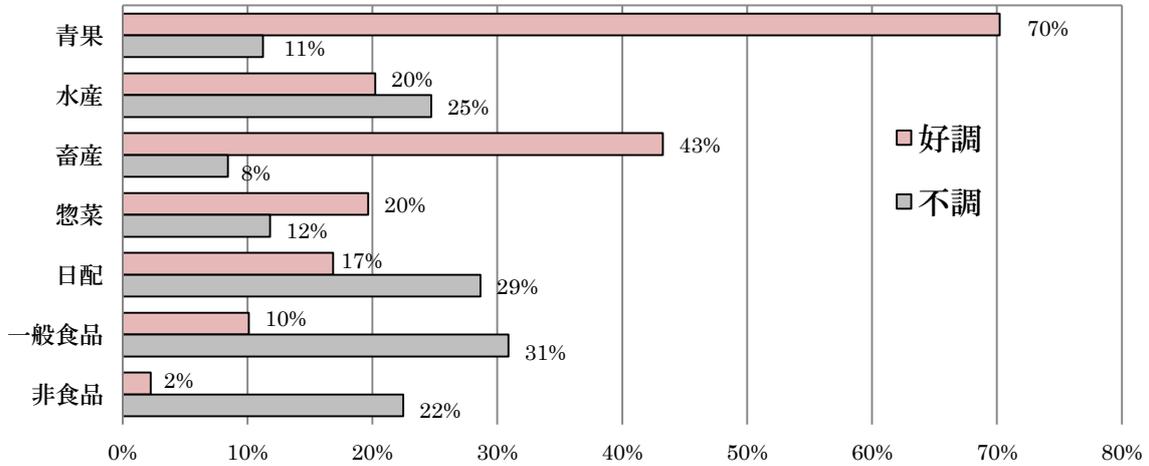
III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」

不調回答割合上位カテゴリー：①「一般食品」②「日配」③「水産」

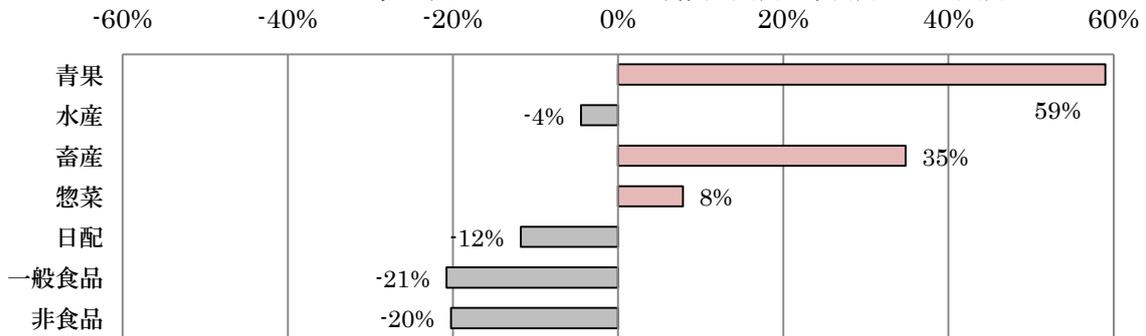
2013年10月 カテゴリー別好不調 (回答割合%)



好調% > 不調%：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「一般食品」②「非食品」②「日配」

2013年10月 カテゴリー別好不調 (好調% - 不調%)



※N=178

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高、(果物)	相場高による買い上げ点数低下
水産	(鮮度訴求)、(原価上昇)	さんま不漁、不漁、原価上昇
畜産	牛肉、豚肉、鶏肉(鍋需要、原価上昇)	競合、原価上昇の影響
惣菜	(季節品)、出来立てなど取り組み強化	
日配	洋日配、アイスクリーム(気温上昇)	和日配、冷凍食品、競合による価格競争
一般食品	菓子	米相場安、飲料、酒、競合による価格競争
非食品		競合による

() は少数コメント